

講義名	対2)教養特講 (航空ビジネスへのいざない)			授業形態	
担当教員	栗原 正憲	開講期・曜日・時限	前期 金曜日 5 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生

#### 主題と概要

社会経済そして観光産業の振興へ交通機関が果たす役割は、多様化する顧客ニーズの高まりとともに近年重要性を増してきており、中でも航空ビジネスは、地方再生を目指す国内の地域活性化、国際交流や海外旅行市場の需要拡大を担う成長産業といえます。本講義では、顧客獲得に向けて差別化を図る航空会社の空港組織や高度な専門性を発揮するさまざまな空港業務を映像を交えてわかりやすく紹介し、航空業界で働くイメージがつかめるよう学修します。そして航空業界が求めるグローバル人材とは何かを理解し、2つの演習課題を通して論理的思考力と協調性を養う。

#### 到達目標

エアラインのさまざまな空港業務を学修し、専門性と求められる人材を理解できるようになる。  
航空機を安全・快適に運航するために求められるチームワーク、コミュニケーション能力、ホスピタリティの重要性を理解することができるようになる。  
航空業界に興味を湧き、演習課題を通して就業につながる論理的思考力と協調性を高めることができる。

#### 提出課題

授業の中で毎回小レポートの提出を求める。  
特に演習課題の授業では、事前課題ワークシート・プレゼンテーション資料などの作成・提出を求める。

#### 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

授業で課す小レポートは、次回授業の冒頭で出題意図と要点を解説して前回の学習内容を復習する。また、優れたレポートを紹介するとともに、学生からの質問についても解説を行い全員で共有し理解を深める。

#### 評価の基準

授業への参加姿勢（授業態度、プレゼンテーション）	30%
小レポート、課題ワークシートの提出と出来栄	20%
理解度テスト	50%

#### 履修にあたっての注意・助言他

航空業界への就職志望者、交通輸送機関の研究に意欲を持つ学生の履修を期待する。  
航空ビジネスにおける空港業務に関する知識・理解を積み重ねていく授業であり毎回出席すること。  
ビジネスマナーを常に意識するため、授業では特に遅刻厳禁と服装の留意を求める。  
授業内容の理解を深めるため、教養特講「交通輸送ビジネス入門」を並行して履修することが望ましい。

#### 教科書

.使用しない。

#### 参考図書

.なし。

#### その他

毎回の授業で適宜プリント資料を配付する。また、参考文献は授業内で紹介する。

#### 授業計画

- 1.オリエンテーション
- 2.航空の歴史と航空自由化
- 3.空港業務の役割（使命）
- 4.演習（海外卒業旅行を企画する）
- 5.演習（海外情報の収集）
- 6.演習（卒業旅行のツアー企画）
- 7.演習（プレゼンテーション）
- 8.パイロット、CA、整備
- 9.グランドスタッフ（GS）
- 10.グランドハンドリング（GH）、貨物、運航管理
- 11.演習（新しい機内サービスを企画する）
- 12.演習（企画立案）
- 13.演習（評価・プランニング）
- 14.演習（プレゼンテーション）
- 15.まとめ（理解度テスト）

#### 授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="checkbox"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="checkbox"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="checkbox"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> オ：実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> キ：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

#### 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

航空業界は世界的な航空自由化が推進され、世界最先端の技術開発とグローバル競争の中にある。常に観光・交通・航空関連ニュースに関心を持ち、最新の情報収集に努めること（予習2時間）。  
授業で課す課題レポートは自分の言葉で記述することに努め、期日までに提出すること。また、授業資料を振り返り、航空ビジネスにおける航空専門用語を理解した上で、航空業界の現状課題と未来像を考察できるようにし、授業でわからなかった箇所は質問事項を整理して次の授業に臨むこと（復習2時間）。

#### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

到達目標「」を達成することで共通DPに貢献できる。社会経済や国際交流を支える航空ビジネスのさまざまな空港業務を学修し、航空業界への興味が高まり就業につながる資質を養い、論理的思考力と協調性を発揮できる人材をつくる。

#### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

2つの演習課題を行います。航空ネットワークや世界の観光資源に視野を広げて情報収集し、新しい海外卒業旅行ツアーを企画し発表する。また、進化する航空機内での新しい機内サービスを企画し、より快適な空間を提供するアイデアを発表する。演習課題を通して論理的思考力を高め課題解決力を養う。

#### 実務経験の有無及び活用

「実務経験あり」  
航空会社での勤務（本社部門、営業部門、空港部門、客室乗務員部門、整備部門など）の実務経験を生かして、さまざまなエピソードを交えながら航空ビジネスにおける空港業務の魅力を伝える。

#### 備考